



工法

低管理の薄層緑化 プリオセダム



※防水層保護を目的としてリベットルーフの上にPGフィルターマットを敷設し、プリオセダムを設置する場合があります。
「建築工事監理指針(平成19年度版)」及び「建築改修工事監理指針(平成19年度版)」参照

優れた耐根性が評価されました

タブノキの例



クマザサの例



※リベットルーフで作成したボックスに樹木を植栽した実験例
※竹類を植栽する場合はご相談ください。

パンチングメタルの箱にリベットルーフを設置し、木本類(タブノキ、ヤシャブシ)と草本類(クマザサ、ノシバ)を植栽し、2年間経過観察を行った結果、防水層及び接合部への根の貫通および侵入は見られませんでした。



※一部抜粋

品質性能試験報告書(財団法人 建材試験センター発行)

ユニット工法により工期短縮

ユニット工法なので、トレーを敷き並べてリベットルーフに固定するだけの簡単施工です。

専用部材

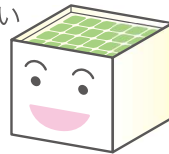


プリオセダムトレー

軽量システム

防水層からセダムまでを含めたシステム全体の重量が湿潤状態でも40kg/m²程度と軽量なので、建物への負荷が少ないため、新築はもちろん既存建物の屋上を緑化することも可能です。

軽い



軽量

約40kg/m²

リベットルーフへしっかりと溶融着固定

PG固定ピンとリベットルーフを溶融着により一体化させ、確実に固定します。また、強風地域や高層ビルに適用する強風仕様(オプション)ではトレー相互を接続ピンを用いて強固に接続し、ばたつきや飛散を防止します。なお、設置条件によっては、ネットによる補強や固定方法を変更する場合がありますので、ご相談ください。

●トレーの角部を接続(強風仕様)



●トレーの周辺を接続(強風仕様)



PG袋ナット

PG固定フック

PG固定ピン

リベットルーフ

防水層の点検が容易

トレーは簡単に取り外して移動出来るので、防水層の目視点検が容易です。万が一の場合、直ちに防水層の点検や補修等の適切な対処が可能です。

高い排水能力

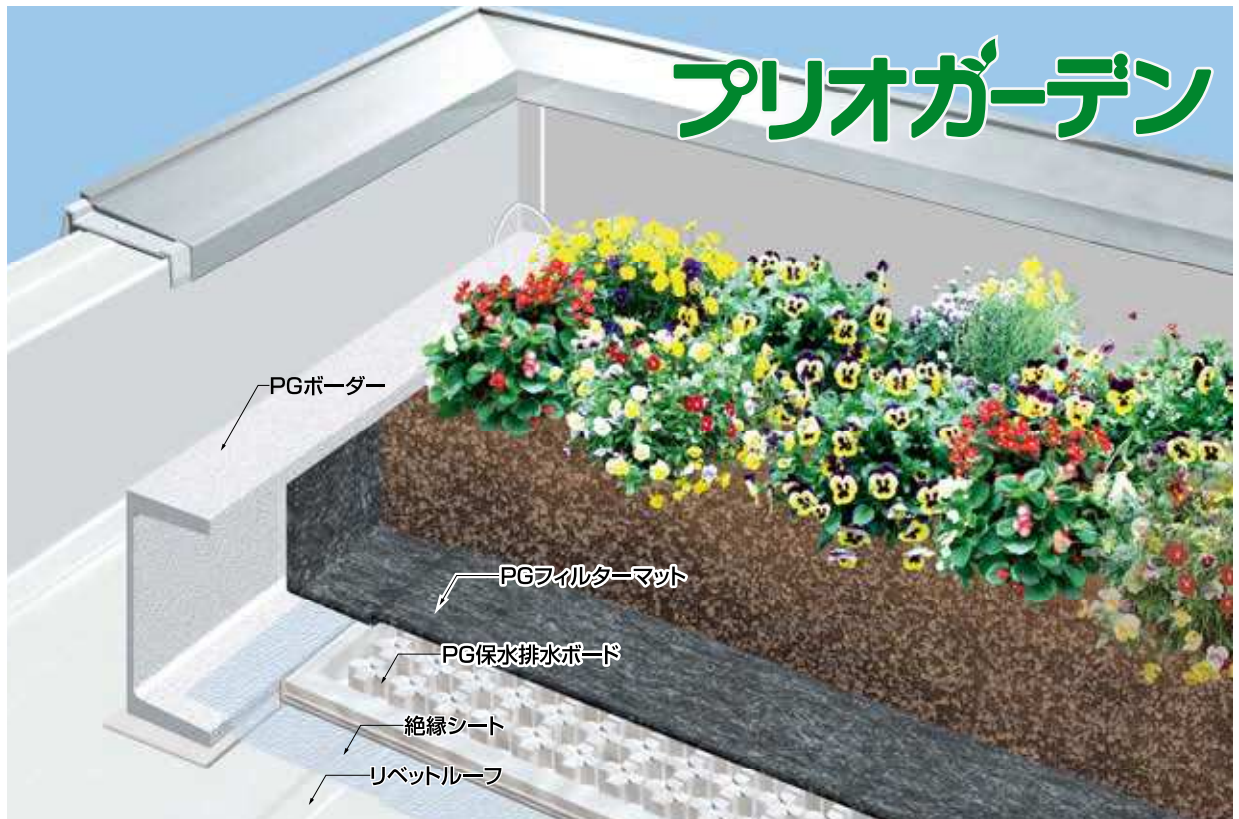
下部空間が排水路となり、高い排水能力を発揮するので安心です。





工法

管理型の屋上緑化 プリオガーデン



軽量化と工期短縮

軽量の構成部材を使用しているため、大幅な軽量化と工期短縮が実現できます。

軽量

PGソイルの場合、
土壌厚150mmとして
約135kg/m²

PGソイル/aベースII
(人工軽量土壌)

植物を支持し、水分・酸素・養分を供給します。

PGフィルターマット

土壌の流失を防ぎ、通気性を向上させます。

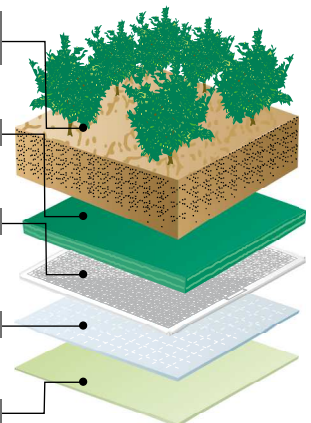
PG保水排水ボード

一定の水分を凹部に溜めるとともに溝部から余剰水を速やかに排出します。

絶縁シート

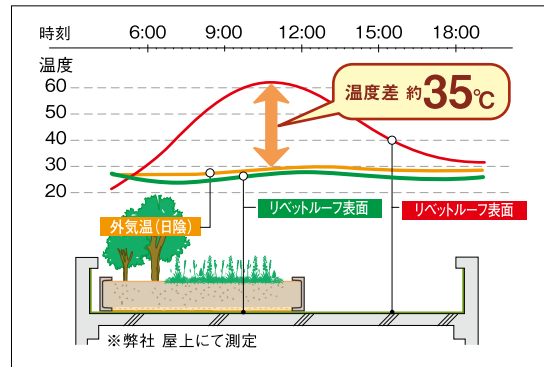
植栽基盤と防水層の密着を防止します。

リベットルーフ

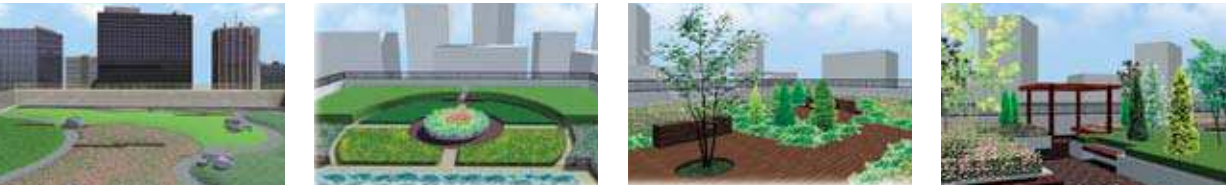


省エネルギー効果

右図は「プリオガーデン」緑化システムの断熱効果を測定した結果を示しています。露出したリベットルーフ表面と緑化システム直下では最大35℃の温度差があります。植栽基盤の構成部材、含有水分、植物の組み合わせが総合的に断熱効果を発揮しています。

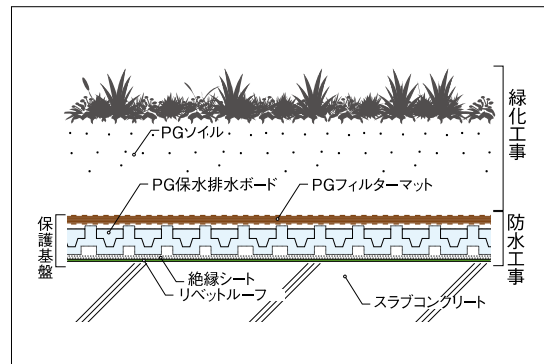


多様な植栽に対応



保護層兼用の基盤

PG保水排水ボードとPGフィルターマットは、原則として防水工事で施工します。防水層を植栽工事による傷から保護する機能を有しています。



プリオガーデン施工手順



1.リベットルーフ施工



2. 絶縁シートを敷設し、PG保水排水ボード敷設



3.PG保水排水ボード敷設完了



4.PGフィルターマット敷設



5. 施工完了